

政務調査視察報告書

会派・議員名

出納簿 整理番号	月分	No.
----------	----	-----

視察・研修会等報告

実施日	平成22年 2月 9日～平成22年 2月 10日
参加者氏名	小磯明東京都議 ・ 小島健一神奈川県議 ・ 吉住健一東京都議 二瓶文隆中央区議 ・ 水野むねひろ港区議 ・ 松浦芳子杉並区議 添田隆晴伊勢原市議 ・ 植松和子函南町議 ・ 安田真也吉川市議 吉田あい杉並区議
視察先	山梨県甲府市日本航空学園
視察目的	・学校法人日本航空学園にて教育勅語を使った道德教育授業視察 ・各自治体での課題点やその取組みについて。他自治体議会議員との意見交換
概要	1. 教育勅語を使った道德教育授業視察

【学校概要】

学校法人日本航空学園は、日本で最大最古の伝統を持った航空技術者を専門に養成する学校。日本航空高等学校をはじめ、日本航空高等学校付属中学校、日本航空高等学校通信制課程、日本航空大学校など、幅広い年齢層の教育に取り組んでいる。卒業生は戦後だけでも1万5千人を超え、航空業界はもとより各産業界において活躍している。

【学校所在地】 学校法人日本航空学園 山梨県甲斐市宇津谷445番地

【理事長】 梅澤 重雄

【道德教育の取組み】

日本航空学園では、道德授業に重きを置き、『知育・徳育・体育』のバランスのとれた教育を行うことにより、知識技術を修得するだけでなく、豊かな人間性を涵養する事を目標にしている。

私達は、高校一年生が行っている「教育勅語を使った道德授業」を見学させていただいた。号令とともに授業が始まり、まずは国歌斉唱。そして、全員で教育勅語を読み上げる。そして生徒達一人一人に、「君が代」歌詞の意味を考えさせ、我が国の美しい自然、連綿と続いている良き伝統と文化、周りの人に対する感謝の心を養っている。日本人としての健全な精神・魂を育てるには、とても素晴らしい授業であると感動した。ぜひとも当区でも、取り入れたいものである。

【まとめ】

最近、新聞・テレビを賑わしている小中学生のいじめ、自殺問題、親殺し・子殺しと、驚愕とする事件が後を絶たない。これを受けて、生徒への心の教育・道德教育を見直す動きがある。その道德教育の最も優れた教材が、教育勅語であろう。

教育勅語には、「父母に孝行し、兄弟仲良くし、夫婦は仲むつまじく、友達とは互いに信じあい、行動は慎み深く、他人に博愛の手を差し伸べ、学問を修め、仕事を習い、それによって知能を開き起こし、徳と才能を磨き上げ、進んで公共の利益や世間の務めに尽力し、憲法を重んじ、法律に従いなさい」と書かれている。他人に対する思いやりと、滅私奉公の精神が書かれた天皇陛下のお言葉だ。

教育勅語という支柱をなくした教育が、戦後60年も続けられた事によって、日本人の心を失い、精神的な高邁さを失い、自由と責任、権利と義務とを倒錯してしまう国民に成り下がってしまった。教育勅語とは、何千年もかかって培われてきた日本独自の道徳の結晶である。今こそ教育勅語の再評価と復権を行い、現代を生きる全ての人に、この精神を生かして行くべきである。

2. 各自治体での取組み・意見交換

【東京都議会の動向】

東京都議会における「平成20年度各会計決算」「平成20年度公営企業会計決算」の報告。都議会平成21年第4回定例会初日に決議された

「天皇陛下御在位二十年にあたり賀詞を奉呈することについて」の採択経緯の報告を行った。それを受け、他自治体の賀詞決議状況を検証し、今後の御皇室と地方自治体のあり方について意見交換を行う。また、昨年の都議会議員選挙後の会派構成、議会運営の変化、オリンピック招致や新銀行東京に関する特別委員会設置、民主党政権誕生で地方自治体がうける影響etc…について見解があった。最後に、石原知事の所信表明について意見交換を行った。結果、中国からのパンダは要らない…。

【神奈川県議会の動向】

神奈川県議会における「喫煙防止条例」制定に至るまでの経緯。

週刊新潮の記事にもなった「神奈川県日教組を震撼させる“消えた30億円”告発文書」問題について神奈川県の見解を報告。これを受け、第20回参院選で山梨県教職員組合が小中学校の教職員らから組織的に選挙資金を集め、山教組幹部ら2人が罰金30万円の略式命令、教員24人が懲戒処分された事件が話題となった。公務員としてのあり方や公職選挙法について、意見交換を行う。横浜市における自由者版教科書採択の経緯など、教育に関する意見交換を行った。

【各地方議会】

各議員の日頃の議会活動報告。一般質問報告も行われた。

各自治体における「天皇陛下御即位20年奉祝行事」の取組みや拉致問題、教育問題について報告がなされた。特に日教組による行き過ぎた性教育やジェンダーフリー教育に対する意見や対策等意見交換を行った。

また、杉並区が22年第一定例議会で上程した「減税自治体構想」に対する取組みや区の考え方、課題や与野党の反応、名古屋市の「市民税10%減税」との違いについて検討が行われた。

また、各自治体が取組んでいる議会改革条例や政務調査費についての方向性も意見聴取した。

今、問題となっている外国人地方参政権について、各議会がどの様に対応するか(対応しているか)各議員から闊達な意見交換が行われた。

【まとめ】

他自治体議会で起こっている課題や問題点、議会改革に関する取組み、新政権誕生が地方自治体へどのような影響を与えるか…など、リアルタイムな情報を共有する事が出来た。

他議会議員との交流から得られる情報や意見交換など、普段、なかなか実現しにくいだけに、新鮮な驚きや新たな学びが、そこにある。これからの地方議会は自分の地域のだけでなく、幅広い視野と見識が必要となって来る。議員は議会、党派、会派を超越し、国家国益のため一丸となって汗を流す時機に来ているのだ。

今回の視察で学んだ多くの事を、これからの議会活動に活かして行きたい。